

## 施策 ⑤仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

### 元気発進!子どもプランの実績・成果

男女が共に仕事と子育てを両立できるようにするためには、長時間労働などの働き方を見直すことや、男女が協力しながら家庭での責任を果たすことなど、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が図られていることが重要です。

このため、平成20年に企業、働く人、市民、行政が一体となって「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を設立し、企業等の取り組み支援や市民への広報啓発に取り組んできました。さらに、子育て支援や男女が共に働きやすい環境づくりなど積極的に取り組んでいる企業等を「ワーク・ライフ・バランス表彰」として表彰し、その取り組み内容を広く周知しました。

また、小・中学校等を通じて保護者に「ワーク・ライフ・バランス新聞」を配布するなど、市民の理解を深めるための啓発に取り組みました。

その結果、平成24年度には全国規模の賞を市内2企業が受賞し、また市民の「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度も6割を超えるなど、企業や地域においてワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みが進みました。

### 現状と課題

#### (ア)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する現状認識

##### 現状

平成23年度に実施した市民意識調査によると、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について、「調和がとれている」「どちらかといえばとれている」と答えた割合は、男性全体で49.8%となっています。この割合を、いわゆる「子育て世代」である30代、40代の男性で見ると、30代は28.6%、40代は38.2%と低くなっています。

##### 課題

- 子どもの成長を喜び、保護者が子育てすることに生きがいを感じるためには、保護者が男女を問わず子育てに向き合え、親子で過ごす充実した時間を持てるなど、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を進めることが不可欠です。また、企業等の事業者や働く人が働き方やライフスタイルを見直していく必要があります。

## (イ) 男性の家事・育児への参画状況

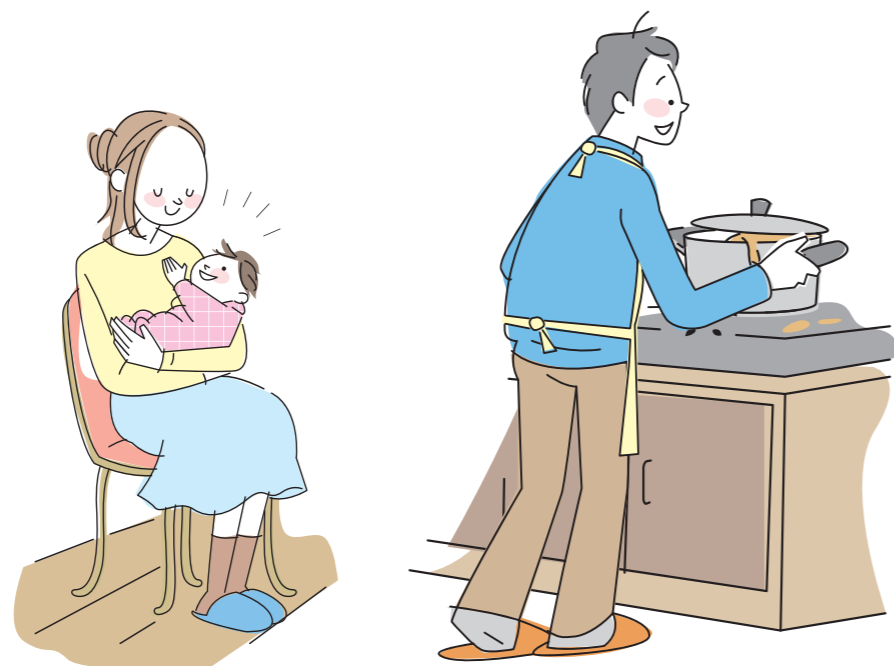
### 現状

平成23年度に実施した市民意識調査によると、家庭生活において男女平等と思う人は20.6%で、全国調査47.0%(平成24年実施)のおよそ半分となっています。

また、「家庭内の仕事分担で配偶者に望むもの」については、男性よりも女性が多く挙げています。妻から夫に仕事分担を望む内容としては、「食事の支度をする」(25.1%)、「掃除などをする」(23.9%)などの割合が高くなっています。

### 課題

- 家族を構成する男女がお互いに協力しながら、家庭での責任を果たし、女性だけでなく男性も家事や子育て等に参画していく必要があります。



### 施策の方向性・柱

#### 『子育てしやすい環境づくりのための仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進』

##### ① 事業者等との共同による仕事と生活の調和の推進

「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、長時間労働の抑制や年休の取得促進など、健康で豊かな生活に向けた働き方の見直しを働きかけていきます。

##### ② 男性の家事・育児への参画促進

男性の家事や子育てへの参画を進めるとともに、男女で協力しながら子育てしやすい環境づくりを進めます。

### 成果の指標【目標】

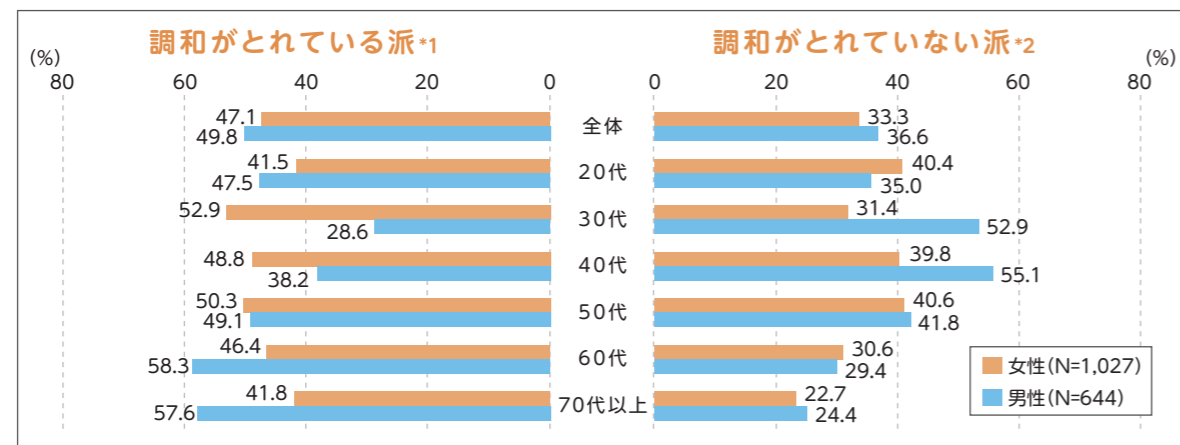
- 1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれていると思う人の割合  
【25年度:41.0%▶増加】
- 2 就学前児童をもつ父親が、家事・育児をしている割合
 

(i)家事	【25年度:43.2%▶増加】
(ii)育児	【25年度:76.9%▶増加】
- 3 主に子育て(教育を含む)をしているのが「父母ともに」と回答した人の割合
 

(i)就学前児童	【25年度:56.4%▶増加】
(ii)小学生	【25年度:59.7%▶増加】

参考データ

● 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する現状認識



資料:平成23年 北九州市の男女共同参画社会に関する調査  
 \*1は、「調和がとれている」「どちらかという調和がとれている」割合の合計  
 \*2は、「調和がとれてない」「どちらかという調和がとれていない」割合の合計

● 年次有給休暇(全国の労働者1人当たりの平均年次休暇取得率)

平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
47.4%	47.1%	48.1%	49.3%	47.1%

資料:厚生労働省調査

● 母親の就労率

区分	就学前児童の母親	小学生の母親
フルタイム	26.5%	29.1%
パート	24.7%	35.4%
計	51.2%	64.5%

資料:北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査(平成25年度)

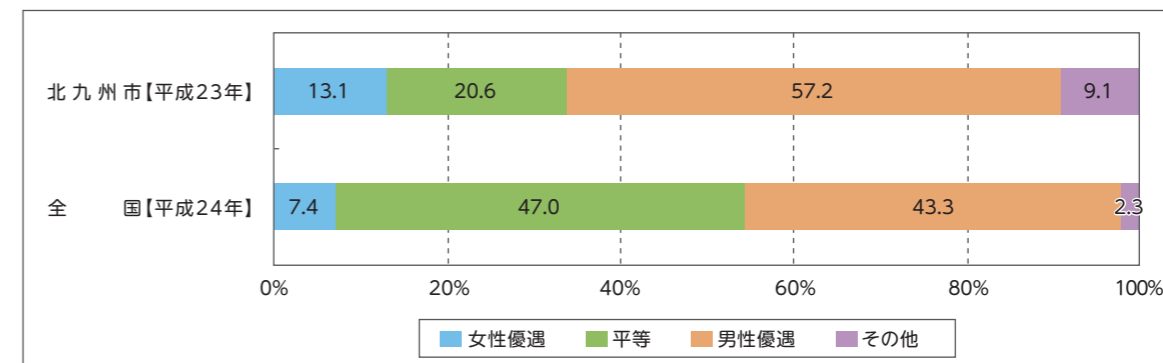
● 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に賛成する人の割合

北九州市	全国
38.7%	51.6%

資料:平成23年 北九州市の男女共同参画社会に関する調査  
 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成24年)

● 「北九州市の女性の年齢階級別労働力率」は、12ページに掲載。

● 家庭生活における男女平等達成感について(割合)



資料:平成23年 北九州市の男女共同参画社会に関する調査  
 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成24年)

● 父親が家事・育児をしている割合

区分	就学前児童の父親	小学生の父親
家事をしている	43.2%	38.1%
育児をしている	76.9%	63.0%

資料:北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査(平成25年度)

● 子育て(教育を含む)を主に行っている人の割合

区分	父母ともに	主に母親	主に父親
就学前児童	56.4%	41.9%	0.4%
小学生	59.7%	36.6%	0.8%

資料:北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査(平成25年度)

## 具体的な取り組み

### ① 事業者等との共同による仕事と生活の調和の推進

No.	事業名 [担当課]	事業概要
77	<b>北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会の運営</b> 〈仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)推進事業〉 [子ども家庭局・男女共同参画推進課]	全国に先駆けて、企業・働く人・市民・行政が一体となって設立した「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に取り組めます。企業等の事業者や働く人が働き方やライフスタイルを見直し、男女が共に働きながら子育てしやすい環境づくりを推進するため、企業への取り組み支援や広報啓発事業を展開します。
78	<b>ワーク・ライフ・バランス表彰の実施</b> 〈仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)推進事業〉 [子ども家庭局・男女共同参画推進課]	子育て支援や男女が共に働きやすい環境づくり等に取り組む企業・個人等を表彰し、お手本としてその内容を広く紹介することで、企業等事業者や市民がワーク・ライフ・バランスに取り組むよう働きかけます。
79 <b>拡充</b>	<b>企業や地域等でのワーク・ライフ・バランスの取り組み支援</b> 〈仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)推進事業〉 [子ども家庭局・男女共同参画推進課]	企業等の事業者に対して、仕事と子育て等との両立への理解促進や働きやすい職場環境づくりを働きかけます。また、毎年11月をワーク・ライフ・バランス推進月間とし、その意義や必要性を企業等事業者や市民に周知します。 ○ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣事業 ○企業等への出前セミナー ○子ども参観日 ○ワーク・ライフ・バランス新聞の配布

No.	事業名 [担当課]	事業概要
80	<b>市役所におけるワーク・ライフ・バランスの推進</b> [総務企画局・人材育成・女性活躍推進課]	職員のワーク・ライフ・バランスを推進するため、「第三期特定事業主行動計画」に基づき、各種研修や啓発活動等による職員の意識改革、仕事の見直し・改善、仕事と子育ての両立支援等について取り組みます。
81	<b>有資格業者の登録における社会的責任・社会貢献の評価</b> [契約室・管理課]	地元企業のワーク・ライフ・バランス推進等の取り組みを積極的に評価するため、入札参加資格業者の格付における主観点の評価項目の一つとして「子育て支援・男女共同参画」を設け、要件を満たす場合に加点します。 市入札参加資格業者のうち、ワーク・ライフ・バランス等の推進を行っている地元企業の増加を目標としています。
82	<b>家族経営協定の推進</b> [産業経済局・農林課]	農業経営の場において、意欲と生きがいを持って農業に取り組めるように、家族全員の話し合いによって、労働報酬や休日、役割分担などについて取り決めを行う家族経営協定制度の普及、啓発を図ります。

### ② 男性の家事・育児への参画促進

No.	事業名 [担当課]	事業概要
83	<b>男性の家事・育児参画促進</b> 〈男女共同参画センター および勤労婦人センター管理運営事業〉 [子ども家庭局・男女共同参画推進課]	家族を構成する男女が共に協力しながら、家庭での責任を果たしていくため、男性が仕事だけでなく、子育て等とともに参画し、家庭等において積極的に役割を果たせるよう支援します。 ○男女共同参画センター・ムーブ等での男性向け家事・子育て関連講座

No.	事業名 [担当課]	事業概要
84	<b>地域における 男女共同参画推進啓発事業</b> [子ども家庭局・男女共同参画推進課]	<p>地域における男女共同参画の推進を図るため、地域で活動している団体・グループ等と協働しながら、市民や若い世代が共感できる広報啓発活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画フォーラムin北九州開催支援</li> <li>○男女共同参画に係る広報啓発事業</li> <li>○若年層向け広報啓発事業</li> </ul>
85	<b>小中学生向け副読本作成活用事業</b> 〈男女共同参画基本計画推進事業〉 [子ども家庭局・男女共同参画推進課] [教育委員会・指導第一課]	<p>次世代を担う子どもや若い世代が、性別にかかわらず個性と能力を発揮していけるよう、小中学生向け副読本の活用等を通じて、子どもの頃からの男女共同参画の理解の促進に取り組みます。</p> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【副読本活用率】 25年度：100% ▶ 現状維持</p> </div>
86	<b>父親になる人への情報発信</b> [子ども家庭局・子育て支援課]	<p>子育ては、一人一人の子どもの成長に寄り添うまたとない機会です。</p> <p>男性に育児をより楽しんでもらうため、妊娠、出産、そして子育てに関する情報を父親の目線で発信します。</p>
87	<b>男2代の子育て講座</b> 〈子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業〉 [子ども家庭局・子ども家庭政策課]	<p>1歳未満および1年以内に誕生予定の子の父親または祖父を対象に、助産師や看護師、子育て支援関係者を講師に迎え、育児に必要な実習を交えた体験型講座を実施し、男性が子育てに参画することの意義や効果を伝えます。また、講座終了後には「パパシエ」「ソフリエ」の認定証を授与します。</p>